

「対決より解決」
で日本を動かす

「もっと」手取りを増やす！

実現した政策

臨時国会における国民民主党の主な成果

- 「年収の壁」178万円の引き上げ
- ガソリン暫定税率の2025年内の廃止
- 高校生の扶養控除の維持
- 自動車税の環境性能割の廃止
- 大胆な設備投資減税の導入
- 自賠責保険料約6,000億円の一般会計からの繰り戻し

プロフィール

- 三重県津市出身、神奈川県在住
- 専修大学法学部法律学科卒業
- 証券会社、電子決済サービス会社等で勤務。
株式、デリバティブ商品等のマーケティングや
事業企画を担当
- 趣味はジム、フットサル、ゴルフ、テニス、自炊

一枚目の投票用紙には **片山ちえ** 二枚目の投票用紙には **国民民主党** とお書きください。

「もっと」社会保険料を軽減

- ・還付制度の創設で現役世代の社会保険料負担を軽減
- ・「130万円の壁突破助成金」を創設し、働き控えを解消
- ・賃上げを行う中小、零細企業の事業主の社会保険料半減
- ・後期高齢者医療の原則2割負担、医療給付を適正化
- ・公的保険の給付範囲見直しと後期高齢者医療制度への公費投入増
- ・「教育国債」発行で、いわゆる「独身税」廃止

「もっと」減税（残された「壁」を乗り越える）

- ・住民税の控除額「110万円の壁」を178万円まで引き上げ
- ・所得税の基礎控除の所得制限撤廃（665万円、850万円の壁）
- ・障がい福祉の所得制限撤廃
- ・年少扶養控除の復活、高校生の扶養控除維持
- ・消費税を一律5%に減税、インボイスは廃止
- ・自動車の電動化を踏まえた「自動車税、自動車重量税」軽減

「もっと」生活コストを安く

- ・ガス、水道、灯油、重油、航空機燃料等の通年値下げ
- ・電気代値下げ（再エネ賦課金（2万円程度／年）を廃止）

「もっと」住宅を安く手頃に

- ・中低所得者向けの家賃控除制度を創設
- ・空き家、公営住宅等を活用して、低家賃、低価格住宅を子育て世帯や若者、単身高齢者に供給
- ・空室税や短期売買規制強化で投資目的の値上がりを抑制し、現役世代が手頃な価格で購入、賃貸できるように

成長戦略「新・三本の矢」GDP1000兆円

- ・減税、社会保険料負担軽減し、人手不足解消
- ・戦略、成長分野等への「ハイパー償却税制」導入、適正取引の拡大等で中小企業の黒字転換を後押し
- ・「教育国債（5兆円／年）」で、教育・科学技術予算倍増

人づくりこそ、国づくり

- ・年5兆円の「教育国債」発行で子育て・教育・科学技術予算を倍増
- ・3歳から義務教育化で待機児童ゼロ
- ・給食代、教材費、修学旅行費等を含む高校までの教育費完全無償化
- ・子育て、教育、障がい福祉、奨学金の所得制限撤廃、年少扶養控除復活

国民党の政策を
さらに詳しく！



お金の不安のない社会へ。

片山
ちえ